

一番 中村一子です。

傍聴席には町民のみなさまもいらしています。傍聴をありがとうございます。

わたしは請願第34号、(仮称)ポートピア津幡、建設計画の完全撤回を求める請願に賛成の立場で討論します。

加茂出口からすぐの、あの国道8号線沿いに、さまざまな人たちが行き来する、あの国道8号線沿いに、ポートピアができるということ、ギャンブル場ができるということ、いま一度立ち止まって、考えてほしい。

議員のみなさまも、傍聴席にいるみなさまも、どうか今一度想像してみてください。富山県境を越えて石川県に入っすぐの場所に、北陸の人にとってみれば、いままで縁がなかったポートピアというギャンブル施設が、年間360日、朝10時頃から夜8時、9時ごろまで、ほぼ毎日、ギャンブルができる、そのような施設ができるということ、想像してください。金沢競馬と比較にならぬ営業日数であり営業時間であり、その影響の大きさをイメージしてください。

どうか立ち止まって、よくよく考えてください。

実際、毎日のように、ポートピアに通っている人たちがいます。わたしがポートピア梅田に5日間続けて通ったときのことですが、ある年配の男性の方は毎日来ていて、ギャンブルをしていました。毎日行くのは、それは魅力的な場所だからというのでは、決してありません。ギャンブルに依存させられてしまったからです。ポートピアは、複数の糸を張って巣にかかる獲物を静かに待つ蜘蛛のようでもあり、毎日だれかが、餌食になります。自分をコントロールできなくなる、もはや意思が働かない病気である、ギャンブル依存症に犯されてしまうのです。これは大げさな話ではない、本当の話です

ポートピアがなければ、平穏な暮らしを続けていけたらに、そうではなくなる人たちが、でてくることは間違いないということ、真剣に考えてほしい。

だから、立ち止まって、考えてください。

パチンコの問題のほうがひどいという、比較の議論はよしましょう。どちらもギャンブル依存症の被害者を生むものであり、どちらも根っこは同じであるのだから、問題の本質をみななければならない。

ここで採決を待つ議員のみなさまのなかに、ポートピアの建設計画を撤回するべきであるというこの請願に対して、立ち上がって賛成するには至らないが、この請願に反対と、いうわけでもないとして、座っている議員の方々がいらっしやるとすれば、この請願に反対でもないという自分のその気持ちに真剣にむきあってほしい。なぜなら、ここにいる議員ひとりひとりの判断が、今後、この町と周辺地域に住む人たちの人生に大きな影響を与えるのだから、その影響の大きさを真剣に考えなければならないと

思うからです。

ポートピアに、積極的には賛成ではないのならば、あるいは信念を持ってポートピアを作るべきだ、とは思っていないのならば、この請願に立ち上がって賛成してほしい。中途半端な気持で、ギャンブル場を作らないでください。中途半端な気持では、ギャンブル場を作ってはならないのです。

一時のお金が入るからと、故郷のころをギャンブル産業に売り渡すことは、いま、ここに生きている人たちだけの問題ではないのです。ご先祖さまに申しわけがたちますか、子孫たちに胸がはれますか。

ポートピアを積極的に推進して、ギャンブル場をあの国道8号線沿いに、なにがなんでも作りたい議員だけ、この請願には座って反対してください。そうでない議員は、この請願の採決においては、立ち上がるべきです。大規模な、北陸初のポートピアというギャンブル場が、津幡町の玄関口にできるか出来ないかという問題でもあり、その影響ははかりしれません。ここで座ったままで、この請願に反対するという事は、その責任を負うべきであると考えられるからです。この請願に反対したら、その責任を負ってください、負えますか。

本当にギャンブル場を作りたい議員だけが、座ってこの請願に反対すればいいのであって、そうでない議員、あるいは迷いを持っている議員は、この採決には、立ち上がってください。立ち上がるべきだ、立ち上がらなければならないと、思います。

以上（仮称）ポートピア津幡、建設計画の完全撤回を求める請願に賛成の討論を終わります。